

| 関連する都市像 ※1 | モニタリング指標名 | 単位 | 算出方法・出典等 | 基準 | 実績値（ビジョン策定以前） | | | 実績値（ビジョン策定以降） | | | |
|--|---|----------|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|---------------------------------|---------------------------------|--------------|--------------|
| | | | | | 2016年（平成28年） | 2017年（平成29年） | 2018年（平成30年） | 2019年（令和元年） | 2020年（令和2年） | 2021年（令和3年） | 2022年（令和4年） |
| 全体 | 京都市推計人口 | 人 | 京都市統計ポータル | 各年12月末時点 | 1,474,344人 | 1,471,722人 | 1,468,525人 | 1,456,711人 | 1,462,579人 | 1,450,660人 | 1,447,051人 |
| 国際都市像1 | 外国籍市民の国籍数 | 箇国・地域 | 国際交流・共生推進室算出 | 各年12月末時点 | 149箇国・地域 | 147箇国・地域 | 147箇国・地域 | 154箇国・地域 | 153箇国・地域 | 154箇国・地域 | 154箇国・地域 |
| | 国際会議開催件数 | 件 | JNTO発出の国際会議統計 | 各年1月～12月合計 | 278件 | 306件 | 348件 | 383件 | 26件 | 4件 | 未公表 |
| | 国際会議への海外参加者数 | 人 | JNTO発出の国際会議統計 | 各年1月～12月合計 | 総数 202,996人 | 総数 140,253人 | 総数 156,076人 | 総数 190,834人 | 総数 29,716人 | 総数 1,046人 | 未公表 |
| | | | | | 海外 26,602人 | 海外 21,102人 | 海外 32,449人 | 海外 30,585人 | 海外 562人 | 海外 349人 | 未公表 |
| | 外国籍市民数に占める高度外国人材の割合 ※2 | % | 国際交流・共生推進室算出 | 各年12月末時点 | 7.7% | 8.8% | 9.8% | 10.5% | 11.1% | 11.2% | 10.7% |
| (人) 3,298人 | | | | | 3,894人 | 4,536人 | 5,139人 | 5,070人 | 4,781人 | 5,358人 | |
| 国際都市像1に関連する京都市市民生活実感調査 ※3 | % | 市民生活実感調査 | 例年5～6月実施 | (参考値：旧設問に対する数値) | (参考値：旧設問に対する数値) | (参考値：旧設問に対する数値) | (参考値：旧設問に対する数値) | (新設問に対する数値) | (新設問に対する数値) | | |
| <令和3年度以降の新設問> 「京都には、世界から留学、ビジネス等を目的として訪れる人々を引き寄せる魅力がある」と感じる市民の割合 <令和2年度以前の旧設問> 「京都には、世界から観光、留学、ビジネス等を目的として訪れる人々を引き寄せる魅力と、受入環境がある」と感じる市民の割合 | | | | 62.9% | 67.5% | 67.3% | 62.5% | 調査実施せず ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため | 64.6% | 47.8% | |
| 国際都市像2 | 世界歴史都市連盟加盟都市数 | 箇国・地域 | 国際交流・共生推進室集計 | 各年12月時点 | 112都市63箇国・地域 | 115都市65箇国・地域 | 117都市65箇国・地域 | 117都市65箇国・地域 | 121都市66箇国・地域 | 125都市65箇国・地域 | 128都市65箇国・地域 |
| | 国際都市像2に関連する京都市市民生活実感調査 ※3 | % | 市民生活実感調査 | 例年5～6月実施 | (参考値：旧設問に対する数値) | (参考値：旧設問に対する数値) | (参考値：旧設問に対する数値) | (参考値：旧設問に対する数値) | (新設問に対する数値) | (新設問に対する数値) | |
| | <令和3年度以降の新設問> 「京都は、海外の都市と文化のみならず経済・芸術など様々な分野で活発に交流し、国際社会にも貢献している」と感じる市民の割合 <令和2年度以前の旧設問> 「京都は、文化資産の継承、環境にやさしい取組などを通して、平和都市として国際社会に貢献している」と感じる市民の割合 | | | | 60.9% | 61.5% | 59.6% | 56.0% | 調査実施せず ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため | 55.6% | 39.2% |
| 市民主体の事業への後援名義許可数 ※4 | 件 | 全庁照会 | 各年度4月～3月合計 | 全庁照会実施なし | 全庁照会実施なし | 全庁照会実施なし | 145件 | 72件 | 104件 | 未照会 | |
| 国際都市像3 | 京都市国際交流会館におけるセミナー・イベント参加者数 | 人 | 国際交流協会集計 | 各年度4月～3月合計 | 87,749人 | 115,271人 | 142,481人 | 99,262人 | 43,347人 | 42,235人 | 未集計 |
| | 留学生数（大学、短期大学、専修大学、日本語学校） | 人 | 総合政策室大学政策担当集計 | 各年5月1日時点 | 10,365人 | 10,991人 | 12,922人 | 14,252人 | 13,511人 | 13,381人 | 未公表 |
| | 国際都市像3に関連する京都市市民生活実感調査 ※3 | % | 市民生活実感調査 | 例年5～6月実施 | (参考値：旧設問に対する数値) | (参考値：旧設問に対する数値) | (参考値：旧設問に対する数値) | (参考値：旧設問に対する数値) | (新設問に対する数値) | (新設問に対する数値) | |
| | <令和3年度以降の新設問> 「市民、民間主体の国際交流が行われ、様々な世代で外国文化への関心や理解が高まっている」と感じる市民の割合 <令和2年度以前の旧設問> 「京都では、市民、民間レベルでのさまざまな国際交流が盛んである」と感じる市民の割合 | | | | 49.2% | 51.5% | 51.6% | 49.5% | 調査実施せず ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため | 27.2% | 30.5% |
| 国際都市像4 | 外国籍の住民基本台帳登録者数 ※5 | 人 | 国際交流・共生推進室算出 | 各年12月末時点 | 総数 42,567人 | 総数 44,282人 | 総数 46,451人 | 総数 48,773人 | 総数 45,637人 | 総数 42,594人 | 総数 50,294人 |
| | | | | | 永住者 5,257人 | 永住者 5,338人 | 永住者 5,635人 | 永住者 5,935人 | 永住者 6,112人 | 永住者 6,201人 | 永住者 6,381人 |
| | 外国籍児童生徒数（公立小学校～高校） | 人 | 教育調査統計 | 各年5月1日時点 | 806人 | 826人 | 827人 | 836人 | 802人 | 880人 | 未公表 |
| | 京都市の住民基本台帳人口に占める外国籍市民の割合 | % | 国際交流・共生推進室算出 | 各年12月末時点 | 3.00% | 3.13% | 3.29% | 3.46% | 3.26% | 3.07% | 3.63% |
| | 国際都市像4に関連する京都市市民生活実感調査 ※3 | % | 市民生活実感調査 | 例年5～6月実施 | (参考値：旧設問に対する数値) | (参考値：旧設問に対する数値) | (参考値：旧設問に対する数値) | (参考値：旧設問に対する数値) | (新設問に対する数値) | (新設問に対する数値) | |
| <令和3年度以降の新設問> 「国籍、民族、文化等が違っていても互いに理解し合い、文化の多様さを感じられるまちとなっている」と感じる市民の割合 <令和2年度以前の旧設問> 「国籍、民族、文化等が違っていても互いに理解し合い、ともにいきいきとくらせるまちになっている」と感じる市民の割合 | 39.6% | | | | 44.1% | 38.7% | 35.9% | 調査実施せず ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため | 31.8% | 31.6% | |

※1 指標によっては、複数の都市像の実現度の把握にも使用する。

※2 住民基本台帳に登録されている在留資格のうち、以下の項目の資格保有者数が占める割合。

「教授」、「芸術」、「宗教」、「報道」、「経営・管理」、「法律・会計業務」、「医療」、「研究」、「技術・人文知識・国際業務」、「企業内転勤」、「興行」、「技能」、「介護」及び「高度専門職1号、2号」

※3 京都市基本計画を基に設問を作成し調査を実施しており、令和2年に第3期京都市基本計画を策定したことに伴い、令和3年度以降は、新たな設問で調査を実施。そのため、令和3年度以降の調査結果と令和2年度以前の調査結果との単純比較はできない。

また、新設問となった令和3年度以降も、令和4年度に調査方法を変更（調査票配布・回収→インターネットモニター調査、調査対象：無作為抽出3,000人→住基人口の人口構成比（性別・年齢・行政区）に基づいた940人）。そのため、令和3年度と令和4年度の調査結果の単純比較もできない。

割合については、「そう思う」及び「ややそう思う（新設問）と回答した割合（旧設問では「そう思う」及び「どちらかというと思う」）。

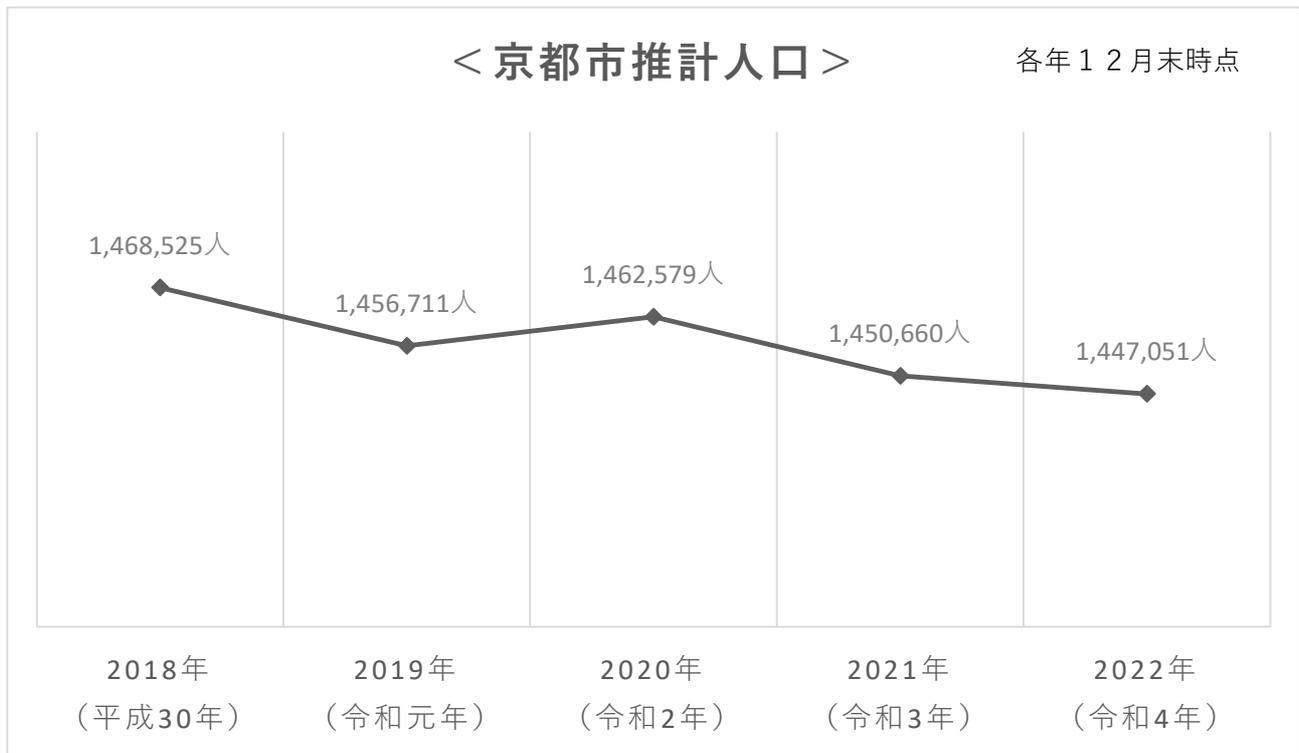
※4 市民主体の事業のうち、国際交流、国際協力、多文化共生、海外販路開拓に係る事業への後援名義許可数。

※5 永住者数については、在留資格上の「永住者」の数。特別永住者は含まない。

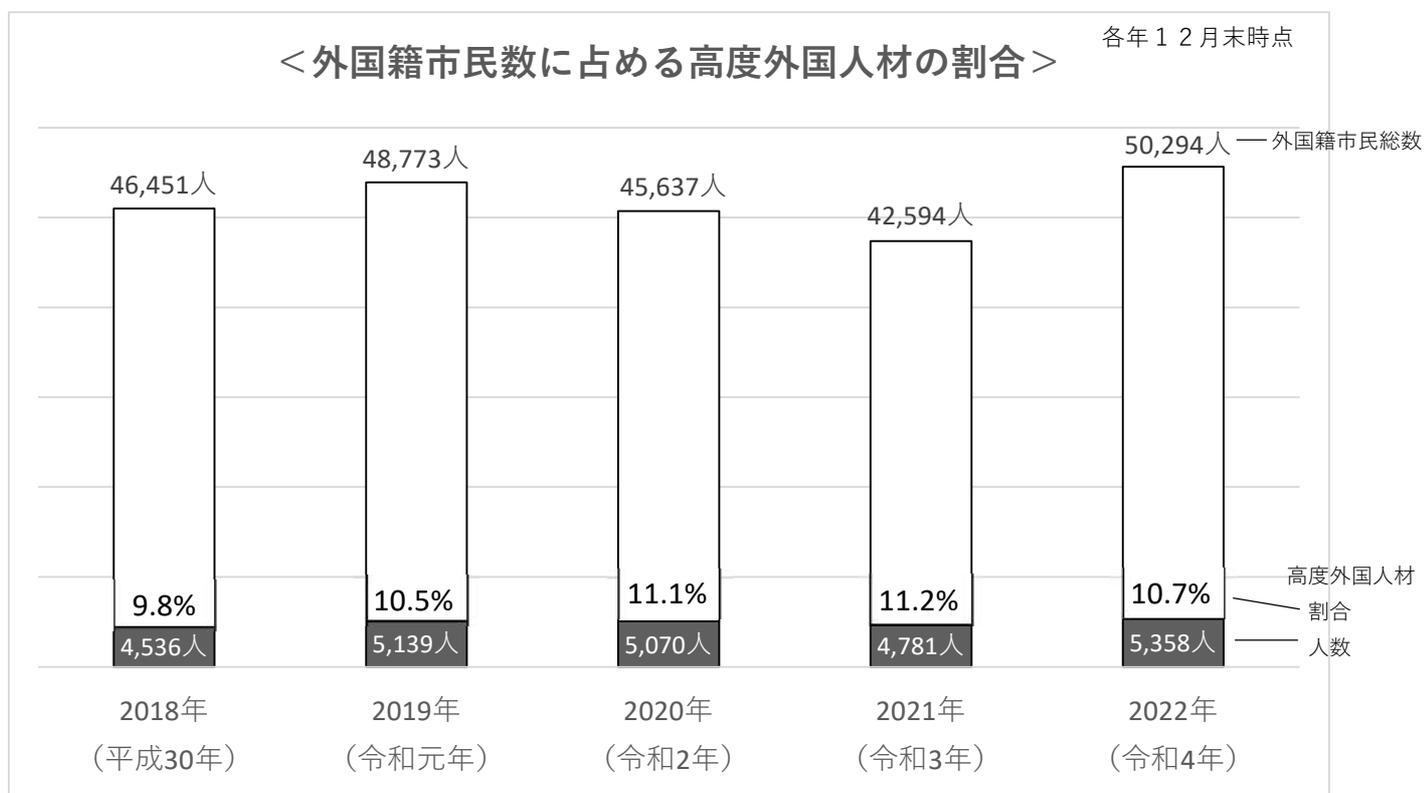
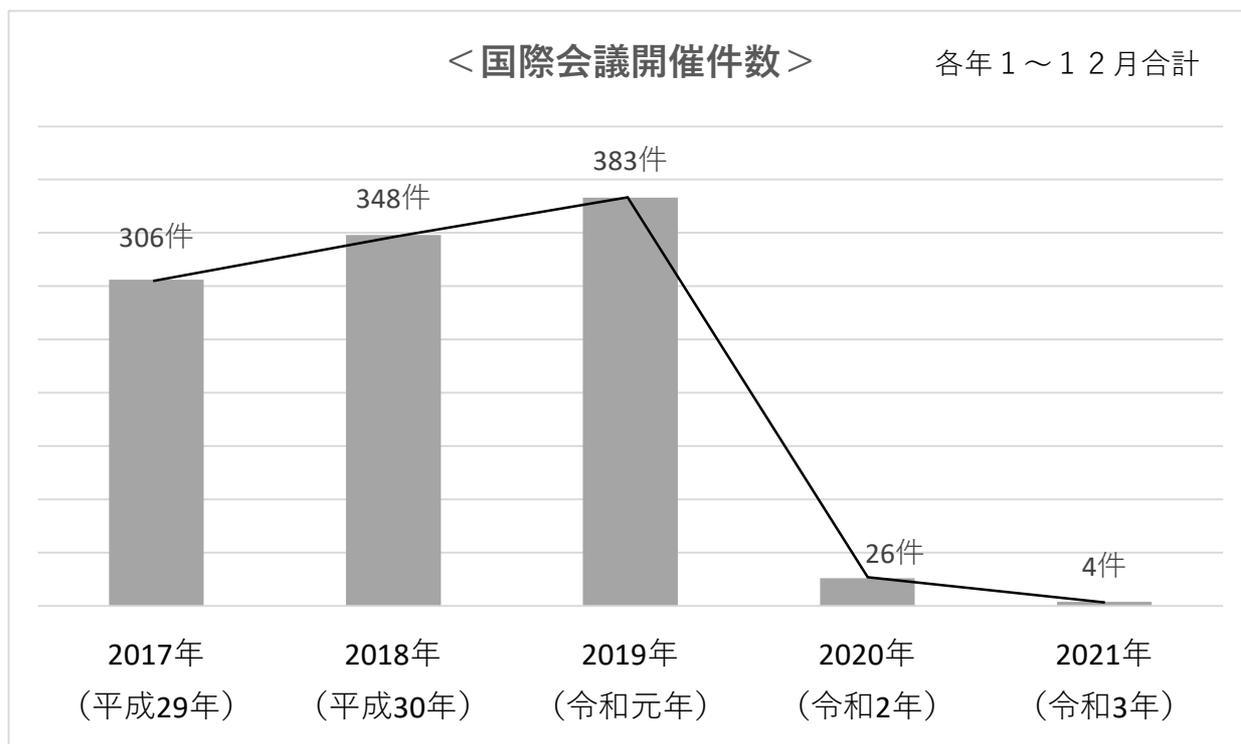
「京都市国際都市ビジョン」モニタリング指標 主な指標の推移グラフ

※直近5か年分

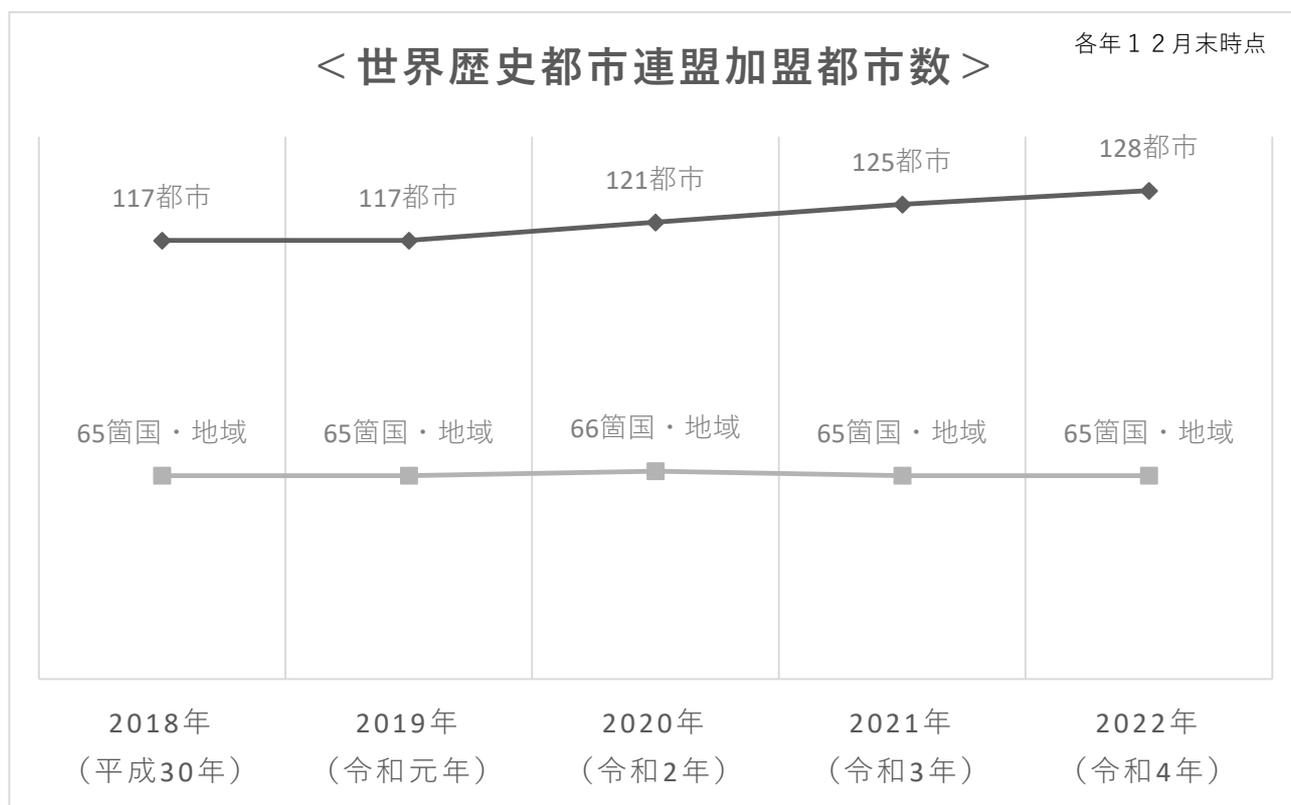
《全体に関わるもの》



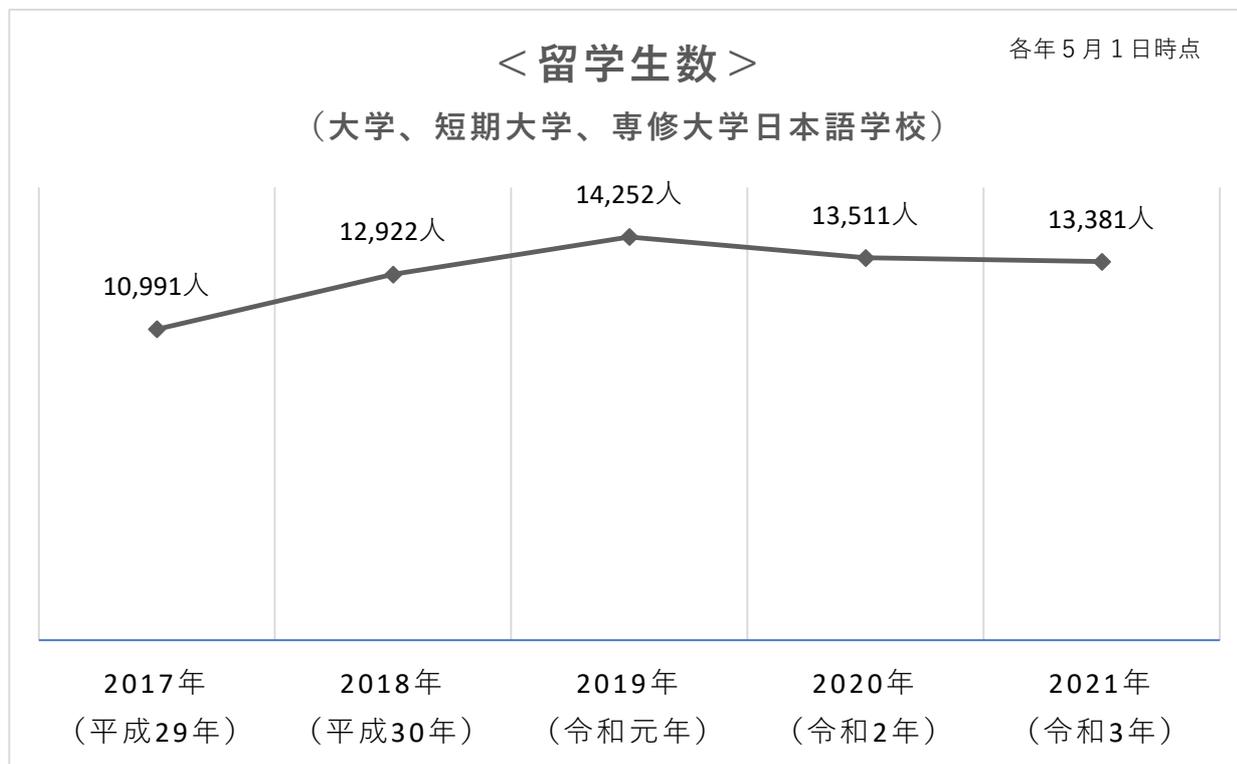
《国際都市像 1 関連》



《国際都市像 2 関連》



《国際都市像 3 関連》



《国際都市像 4 関連》

